

# 緑山バイオマス材生産モデル事業の概要

## 緑山バイオマス材生産モデル事業(事業イメージ)

市有林において、早生樹を活用した低コスト、15年サイクルによる循環的なバイオマス生産に着手 (R1~)

早生樹が15~20年で成長する  
前提で、市有林(緑山:270ha)  
を段階的に早生樹へ移行



15年間サイクルで伐採、再造林  
を目標とする実証

目標:  $270\text{ha} \div 15\text{年} = 18\text{ha/年}$

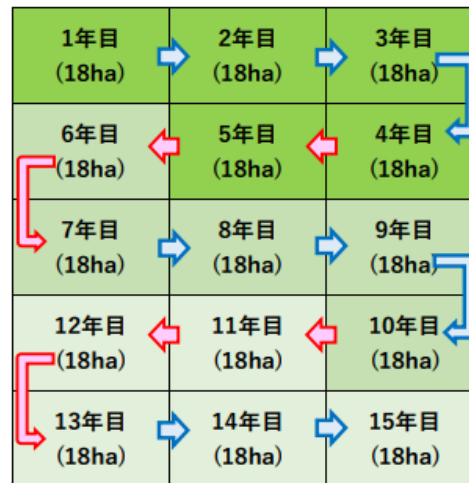
+

適宜、柔軟な最適手法の検討

- 例・植林密度を変化
- ・一部を用材エリア施業
  - ・他樹種の植林、混合育成
  - ・施肥の実施
  - ・私有林等、他地域への展開
  - ・森林機能の最大発揮の施業・  
保育手法検討 ほか



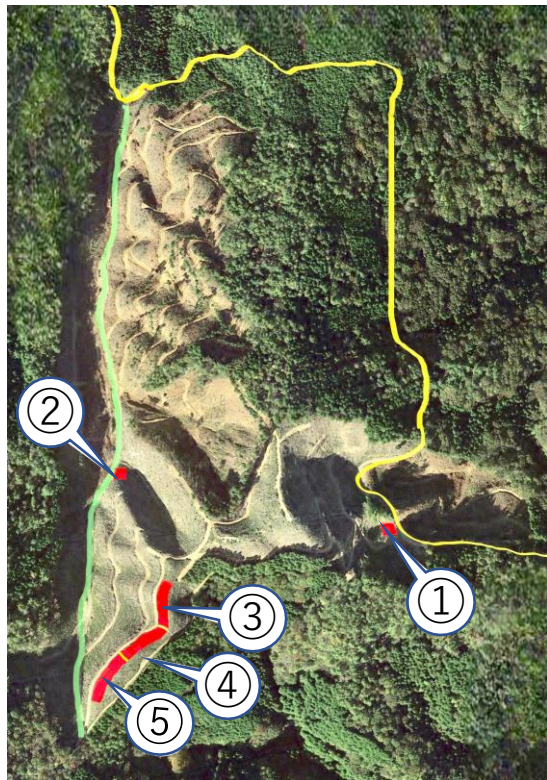
市有林(緑山:270ha)



毎年段階的に早生樹へ移行

出典: 第1回周南市木質バイオマス材活用推進協議会資料より

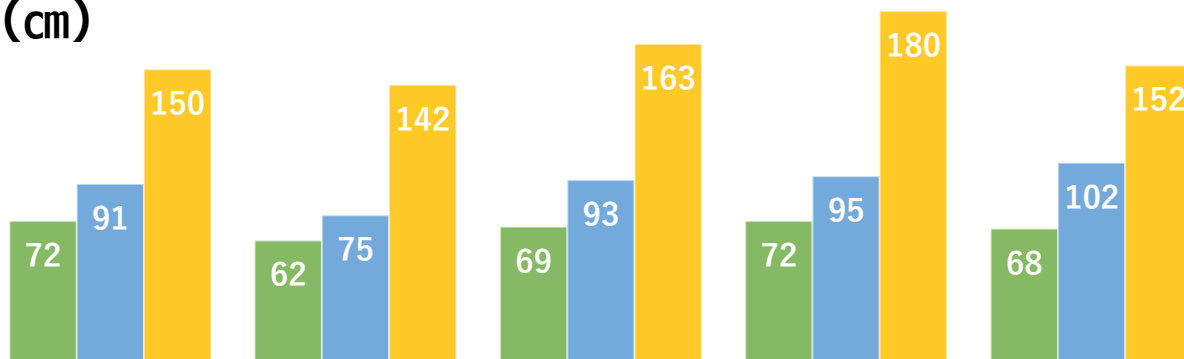
# 緑山バイオマス材生産モデル事業のプロット調査概要



令和2年度にコウヨウザンを造林した計5地点でプロット調査を実施。  
令和3～5年度の平均樹高等を比較した。

# 緑山バイオマス材生産モデル事業のプロット調査概要

## A R3～5年度平均樹高比較 (cm)



## B 枯死率比較

調査地 年度	プロット① 1,500本植	プロット② 1,500本植	プロット③ 1,500本植	プロット④ 1,000本植	プロット⑤ 2,000本植
令和3年度	0%	17%	1%	5%	7%
令和4年度	0%	0%	1%	5%	0%
令和5年度	0%	0%	1%	5%	2%

## C 食害被害

令和3年度	0%	0%	0%	0%	0%
令和4年度	0%	0%	0%	0%	0%
令和5年度	0%	0%	0%	0%	0%